

みんなのふるさとじばれ話 43

第一回国勢調査と記念章

国勢調査とは「国の情勢を調べて知ること」です。今年は、大正9年（1920）10月1日に、第一回国勢調査が行われてから、百年目の節目の年にあたります。このときの日野町の人口は5033人、七生村は3117人でした。

第一回国勢調査では、全国で約26万人の調査員が任命されました。翌年6月の勅令により、国勢調査に関与した者に記念章が授与されました。記念章は、授与された本人に限り、終生身につけることが許された貴重なものでした。当時、日野町役場に勤め、調査員に任命された真野新助に授与された記念章が郷土資料館に寄贈されています。

章（メダル）は、直径14（30.3）の円形で青銅製です。表面は、戸籍の巻物を手にした大化年間の国司の姿を菊花形の輪郭で囲んだデザインです。裏面には文字のみで、「国勢調査記念章 大正9年10月1日」とあります。

綬（左胸に着用するためのこのボン）は、幅1寸2分で白と紫色のストリップに染め分けられています。

